

農試第 254-9 号
平成 28 年 10 月 3 日

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長
(公印省略)

農作物病害虫発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先 福井県農業試験場 病害虫防除室 Tel 0776-54-5100(代表) 0776-54-9315(直通) FAX 0776-54-6403 E-mail byogaichu-boujo@fklab.fukui.fukui.jp

平成 28 年農作物病害虫発生予察予報第 8 号

10 月の気象概況

天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、高い確率 50% です。降水量は平年並みと予報されています。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キャベツ ハクサイ	べと病	最盛期： 11 月下旬	少発	平年：少 前年：並み	1) 被害葉を除去する。 2) 薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。 3) 肥料切れをさせない。
ハクサイ	白斑病	最盛期： 11 月下旬	少発	平年：少 前年：少	1) 被害葉を除去する。 2) 薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。 3) 肥料切れさせない。
ダイコン ハクサイ キャベツ レタス	軟腐病		少発	平年：やや多 前年：多	1) 食痕性害虫を防除する。 2) 発生が予想される場合は、 薬剤防除を行う。
キャベツ	黒腐病		少発	平年：並み 前年：並み	1) 食痕性害虫を防除する。 2) 発生が予想される場合は、 薬剤防除を行う。
ダイコン	モザイク 病		少発	平年：少 前年：やや多	1) アブラムシ類を防除する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ニンジン	黒葉枯病	最盛期： 11月中旬	少発 (局中発)	平年：やや少 前年：多	1) 肥料切れさせない。 2) 予防散布に努める。
ネギ	さび病		少発 (局中発)	平年：やや少 前年：少	1) 適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2) 同一系統薬剤の連用は避ける。 3) 薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
全般	ヨトウムシ類		少発 (局中発)	平年：並み 前年：やや多	1) 対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	ハスモンヨトウ	加害盛期： 10月中旬	少発 (局中発)	平年：多 前年：多	
	アブラムシ類		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	
アブラナ科野菜	コナガ	加害盛期： 10月中旬	少発 (局中発)	平年：並み 前年：多	1) 有機リン系、カーバメート系薬剤の感受性低下が確認されているので注意する。
	モンシロチョウ(アオムシ)		少発	平年：並み 前年：並み	1) 対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	タマナギンウワバ	加害盛期： 10月中旬	少発	平年：並み 前年：並み	
	キスジノミハムシ	加害盛期： 10月上旬	少発 (局中発)	平年：やや多 前年：やや多	
ハウレンソウ	シロオビノメイガ		少発	平年：少 前年：少	
ナス ピーマン キュウリ ハウレンソウ	ミナミキイロアザミウマ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1) 本虫は寄主範囲が広いので注意する。
トマト キュウリ	タバココナジラミ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：やや多	
	オンシツコナジラミ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：やや多	
トマト ナス ピーマン	オオタバコガ		少発 (局中発)	平年：やや多 前年：並	1) 果実に食入するため若齢幼虫期までに防除を徹底する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
トマト	ミカンキ イロアザ ミウマ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	
	トマトサ ビダニ		少発	平年：並み 前年：並み	1)施設栽培では発生に注意する。

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キ ク	白さび病		少発	平年：やや少 前年：並み	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2) 下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする。 3) 同一系統薬剤の連用を避ける。
	アブラム シ類		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)同一系統薬剤の連用を避ける。
	オオタバ コガ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)若齢幼虫期までに防除を徹底する。 2)同一系統薬剤の連用を避ける。
	ミカンキ イロアザ ミウマ		少発 (局中発)	平年：多 前年：多	1)同一系統薬剤の連用を避ける。